

結 II

— 和と洋の融合 —

音楽の無限の可能性へ挑戦を続ける「温故知新」。

昨年大好評を得ました、オーケストラ編成によるステージでお届けします。

ゲストは昨年の元NHK交響楽団ホルン奏者（宮崎出身）日高剛に加え、

現代尺八界をリードする坂田梁山、さまざまなジャンルで活躍中の

箏奏者稲葉美和という2人の邦楽家も迎えます。

テーマは「結（むすび）」。オリジナル曲のほか、クラシックやジャズまで、

和と洋、古と新、個と集、光と影、人と人…さまざまな「結（むすび）」を魅せます。

総勢17人で放つ「和楽器」と「管弦楽器」が絡み合う世界は、三股でしか見られないステージ。

どうぞお楽しみに！

温故知新
おんこしん
プラス
新

日高 剛 (元NHK交響楽団ホルン奏者・宮崎出身)
坂田梁山 (尺八)
稲葉美和 (箏)

With 温故知新スペシャル
オーケストラ12人

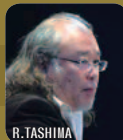


K. UENOZONO

S. ISHII



温故知新「結I」(2012)



R. TASHIMA



M. INABA



R. SAKATA



T. HIDAKA



Y. FUKUHARA



F. NUDO



Y. SAHESHIMA



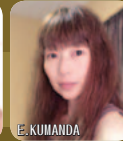
S. NAKADOUZONO



Y. KOMATSU



E. MASEDA



E. KUMANDA



K. SHIBUYAMA



A. FUKUHARA



U. TSUTSUMI



Y. KITA

■日時 / 2013年10月4日[金] 午後7時00分開演 (開場は30分前)

■料金 / 一般・2,000円 (当日同料金) ・大学生以下・1,000円 (当日同料金) ・ペア・3,000円 (前売のみ)
未就学児・無料 (親子室を利用できます)

※全席自由 ※電話予約可 ※WEB予約可 (三股町立文化会館WEBサイト)

※前売にて完売の場合「当日券」の販売はしないことがあります。

■出演 / 温故知新：石井秀弦 (津軽三味線)、上之園謙治 (ドラムス・パーカッション)

ゲスト：日高剛 (ホルン)、坂田梁山 (尺八)、稲葉美和 (箏)

温故知新スペシャル・オーケストラ：田島良一 (総指揮・ピアノ)、

福原洋子・久保吹音・鮫島由美・中堂園都乃 (ヴァイオリン)、間世田慧理香・九万田えりか (ヴィオラ)、

重森敬子・福原明音 (チェロ)、小松康 (コントラバス)、石堂美沙紀 (フルート)、北康乃 (オーボエ)

■プログラム (予定) / ビバルディ・四季「春」、アメイジンググレイス、スペイン (チックコリア)、津軽じょんから節、温故知新オリジナル「古都」ほか

■会場 / 三股町立文化会館 ■主催 / 三股町・三股町教育委員会 ■お問い合わせ・チケット取扱 / 三股町立文化会館 Tel.0986-51-3462

上之園 謙治 (ドラムス・パーカッション)

1955年宮崎県都城市出身、三股町在住。甲斐裕三郎氏 (FM宮崎) に師事。ヤマハ・ポピュラー・ミュージックスクール講師を経て、1992年、『うえのぞのドラム&パーカッション教室』を始める。2001年5月、津軽三味線石井流家元、石井秀弦氏と10年に一度ロンドンのハイドパークで開かれる【日本文化行事Japan2001】に参加。2004年6月、ニューヨークで演奏。2006年10月、石井秀弦&上之園謙治による、CD『温故知新』発表。2007年、GLAYのドラマー Toshi Nagai と吉田光を中心に結成した『音生力 (オンセイリキ)』のCD発表。2009年3月、服部克久プロデュース『スーパージェネレーション2009』、6月『アレンジャーズサミット2009』に出演。GLAYのドラマー、Toshi Nagai と都城市ウエルネス交流プラザにおいて、2006年より『ドラムクリニック』を開催。後進の育成にも、力を注いでいる。ドラム教室は自宅のほか、島津楽器 (鹿児島県志布志市) でも開催中。



石井 秀弦 (津軽三味線)

16歳から三味線を習い始め、内弟子の修業を重ねながら三味線の指導及び舞台活動に入る。1992年、津軽三味線石井流を創立。同年5月に北九州市で行なわれたアスパック92での開会式において、秋篠宮ご夫妻の前で演奏を行い絶賛を浴びる。1996年、97年津軽三味線発祥の地、青森県北津軽郡金木町で行われた津軽三味線全日本大会にて優勝。最高位である仁太坊賞を受賞。2002年7月、日本テレビ『笑ってこらえて』に親子で取り上げられ全国放送される。2006年10月、石井秀弦&上之園謙治による、1stアルバム『温故知新』発表。2007年、GLAYのドラマー Toshi Nagai と吉田光を中心に結成した『音生力 (オンセイリキ)』のCD発表。福岡～長崎～鹿児島～宮崎で演奏。2009年6月第1回津軽三味線九州大会in八代において団体の部優勝。2012年11月、津軽三味線石井流創立20周年記念公演を開催。現在、演奏家・津軽三味線石井流家元として邦楽の世界だけに留まらず洋楽とのセッションにも積極的に参加している。



日高 剛 (ホルン)

長崎大学経済学部卒業後、東京藝術大学にてホルンを学ぶ。1996年からオランダ・マーストリヒト音楽院に留学し、98年卒業。2000年広島交響楽団に入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団を経て、05年NHK交響楽団に入団、08～13年まで同団首席代行を務めた。ホルン・アンサンブル「つの笛集団」メンバー。12年フォンテックからCD「Variation for Horn」をリリース。「ホルンと彫刻の調べ」と題した演奏会を開催し、音楽と美術のコラボレーションを試みるなど、多彩な演奏活動を行う。現在、東京藝術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学非常勤講師。



坂田 梁山 (尺八)

香川県生まれ。神戸大学在学中より岸原周山・川村泰山に師事。NHK邦楽技能者育成会第30期を卒業し、第13回都山流本曲コンクール金賞・文部大臣賞受賞他、各種コンクールで受賞。鬼太鼓座公演、劇団四季ミュージカル、片岡鶴太郎主演ミュージカル参加に加え、小椋佳、南こうせつ等のコンサートにも参加し、様々なミュージシャンと共演し、海外公演も数多く行う。CD録音、テレビ (題名のない音楽会)、ラジオ (邦楽ジョッキー他) には多数出演。尺八を中心としたバンド「ニュートラル」を率いてCD制作をする等、古典から現代音楽に至るまで幅広く活動を行う。都山流尺八大師範。桐朋学園芸術短期大学日本音楽尺八科非常勤講師。



稲葉 美和 (箏)

4歳より生田流箏曲を学ぶ。生田流箏曲・地唄三絃を矢崎明子に、17絃箏を菊地梯子に師事。JAZZ理論・作曲理論等を学び、あらゆる楽器とのコラボレーションも多数。CD『遠くへの雨』『あおのむこう』『桜の咲くころに』をリリース。オリジナル曲を中心としたコンサート活動をする他、邦楽界と唄のコラボ「びかむ」では多くの作曲・編曲を手がける。国内外でのコンサートその他、NHK TV『アジア・知られざる大自然』、NHKスペシャル『大地の子を育てて』(2005年日本賞グランプリ受賞番組) を始めとするTV、ラジオ番組等の音楽制作参加や出演、小椋佳やヤドランカのコンサートツアーに参加するなど、個性的で心地よい音づくりを追求しつつ活動中。



ONKOCHISHIN Special Orchestra



田島 良一 (ピアノ・総指揮)

「田島良一-TRIO」「SUPER SWING GROUP (トシ永井「GLAYサポートドラム)」「西田千穂DUO」などジャズの演奏活動のほか鹿児島交響楽団の編曲も手がけ共演。「横濱ジャズプロムナード」に池田芳夫TRIOで出演するなど全国でも活動。元鹿児島国際大学音楽科非常勤講師。今年2月、韓国入声シンガーWINAのデビューCDに参加。5月に韓国、7月に日本でツアーを行う。



福原 洋子 (ヴァイオリン)

国立音楽大学ヴァイオリン専攻卒業。卒業演奏会に出演。東京においてジョイントリサイタル、鹿児島において「姉妹リサイタル」開催。鹿児島県新人演奏会出演。2001-02年ドイツ・ハノーファー留学。第6回かざん文化財団賞受賞。05年鹿児島県芸術文化奨励賞受賞。現在、鹿児島交響楽団コンサートミストレス、みやまコンセル協力演奏家。



久保 吹音 (ヴァイオリン)

鹿児島大学教育学部音楽科卒業。2011、13年にソロリサイタル開催。10年度かざん文化財団賞受賞。第38回鹿児島市春の新人賞受賞。ストラダロンターナほか所属し各地で芸術鑑賞会やコンサートを行う。現在、鹿児島交響楽団コンサートミストレス、MBCユースオーケストラ指導者、みやまコンセル協力演奏家として活動。



鮫島 由美 (ヴァイオリン)

幼少より、バイオリンを迫田和幸氏に師事。MBCユースオーケストラに所属後、鹿児島交響楽団をはじめ、川辺フィルハーモニー管弦楽団、鹿児島伯林の管弦楽団等に所属。



中堂園 都乃 (ヴァイオリン)

鹿児島大学教育学部音楽専修卒業。石井 宏明氏に師事。小森谷 巧、松原 勝也の各氏に指導を受ける。南日本音楽コンクール第52、54回入選、第55回優秀賞受賞。現在、フオンティエス鹿児島に所属し、音楽活動を行っている。



間世田 慧理香 (ヴィオラ)

9歳よりヴァイオリンを、大学在学中にヴィオラを始める。ヴァイオリンを石井いずみ氏に師事。鹿児島大学農学部獣医学科卒業。現在、獣医師として働く傍ら、鹿児島交響楽団、石井いずみ弦楽四重奏団等で演奏活動を行う。



九万田 えりか (ヴィオラ)

鹿児島市出身。武蔵野音楽大学卒業。在学中は磯良男、故ウィルリッヒ・コッホの各氏に師事。現在はフリーのヴィオラ奏者として東京を中心にオーケストラ、室内楽、アーティストのコンサートサポート、レコーディング等さまざまなジャンルで活動している。



重森 敬子 (チェロ)

国立音楽大学器楽科卒業。第28回南日本音楽コンクール弦楽部門優秀賞受賞。東京にて「ジョイントリサイタル」開催。後進育成のほか鹿児島市芸術家派遣プロジェクト、みやまコンセル「おとどけコンサート」出演など底辺を拡げる活動にも力を注ぐ。現在、フェミニナルレディチェロ奏者、みやまコンセル協力演奏家。南日本音楽コンクール審査員。鹿児島大学音楽科非常勤講師。



福原 明音 (チェロ)

2001-02年ドイツ滞在中deutscher musikrat jugend musizirt室内楽部門第1位。第59回南日本音楽コンクール弦楽部門優秀賞・準グランプリ。第32回鹿児島県高等音楽コンクール金賞・最優秀賞。12年いしかわミュージックにてジャンワングラス受講。現在、桐朋学園大学音楽学部3年に在籍。チェロを毛利伯郎氏、室内楽を藤原英雄ほかの各氏に師事。



小松 康 (コントラバス)

東京都出身、バークリー音楽大学作曲科卒業後、1990年から山下洋輔トリオで4年間活躍。日本はもとよりヨーロッパやアメリカなど海外7カ国で演奏。同トリオ解散後もさまざまなアーティストとの音楽活動を続け、現在に至る。5年ほど前から鹿児島県日置市に移住。鹿児島県を中心に演奏活動。作曲などの活動を続けると同時に後進の育成にも力を注ぐ。今年2月、韓国入声シンガーWINAのデビューCDに参加。5月に韓国、7月に日本でツアーを行う。



石堂 美沙紀 (フルート)

これまでフルートを中島真理子、辻苗苗の各氏に師事。第31回、32回鹿児島県高等音楽コンクール金賞。第49回大分県立芸術文化短期大学卒業演奏会出演。第29回鹿児島県新人演奏会で文化財団理事長賞受賞。



北 康乃 (オーボエ)

10歳よりオーボエを始める。第57・59回南日本音楽コンクール優秀賞。第37回鹿児島県高等学校音楽コンクール木管楽器部門グランプリ。第34回九州高等学校音楽コンクール金賞。オーボエを片倉聖、本間正史の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部 2年在籍。

Mimata 三股町立文化会館

■会場 / 三股町立文化会館
〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町樺山3404-2

■主催 / 三股町・三股町教育委員会

■お問い合わせ・チケット取扱 / 三股町立文化会館
Tel.0986-51-3462

※電話予約可 休館日(月曜日)を除く午前9時~午後5時
※WEB予約可 <http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/>

